



玉北小だより

かしこく
やさしく
たくましく

小美玉市立玉里北小学校
平成29年9月14日
No. 20

全国学力・学習状況調査の結果から・・・

4月18日（火）に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を先週返却しました。この調査は、

義務教育の機会均等とその水準維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。～文部科学省調査目的より抜粋～

の目的で小学校6年生及び中学校3年生の全児童生徒を対象に毎年実施されます。6年生の教科に関する調査では、国語・算数の2教科について、国語A・国語B・算数A・算数Bを調査しました。

〔国語A、算数A〕

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心に出題

〔国語B、算数B〕

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心に出題

【本校児童の県・全国と比較した正答率結果】

教科	対県	対全国
国語A（主として知識）	—	—
国語B（主として活用）	◎	◎
算数A（主として知識）	○	◎
算数B（主として活用）	○	○



◎・・・大きく上回っている
 ○・・・少し上回っている
 —・・・ほぼ平均
 △・・・少し下回っている
 ▼・・・大きく下回っている

国語Aが、ほぼ平均という以外は、国語B・算数A・算数Bとも県、全国の正答率を上回っています。特に県・全国を大きく上回った国語Bや、全国を大きく上回った算数Aにおいては、それぞれの問題で児童が既習事項をしっかりと理解していることが伺えます。

【成果と課題】

《国語A》

成果・・・手紙の構成の理解やことわざや慣用句、故事成語などへの関心が高く、内容をしっかりと理解することができました。

課題・・・俳句の表現の特徴や作者の捉えた情景を思い浮かべることに課題が見られます。普段から俳句や短歌に親しみ、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取ったりしながら音読や暗唱に取り組む機会を増やしていきたいと思えます。また、普段使わないような漢字を書いたり読んだりする問題に対して苦手意識があります。繰り返し練習を行うとともに、読書活動をさらに進めていきたいと思えます。

《国語B》

成果・・・伝えるべき内容を短い文にまとめたり、話し合いの中で適切な言葉を選択したりする問題で高い正答率でした。

課題・・・目的や意図に応じて引用して書く問題に課題が見られます。普段から考えの根拠や理由を明らかにして自分の考えを述べる習慣を身につけていきたいと思えます。

《算数A》

成果・・・計算の意味の理解や計算の仕方を確実に理解することができました。

課題・・・平行四辺形や三角形の底辺と面積の関係、資料を観点をもとに分類する問題を苦手とする傾向が見られます。授業の中で教科書より難しい発展的問題にも進んで挑戦する機会を増やしていきたいと思えます。

《算数B》

成果・・・質問の意図をよく理解し、自分の考えを筋道を立てて述べるすることができました。

課題・・・示された数値を基準とした場合の平均の求め方を言葉や式を用いて記述したり、割合を求めたりする問題で課題が見られました。日常的な事象から平均や割合を求め場面を取り入れながら繰り返し問題を解くようにしていきたいと思えます。

上記のことにつきまして、ご意見等ございましたら、教務（塚本）までお知らせください。